

経済倶楽部便り

◆東京◆ 本年10月は講演会において記念すべき月に当たります。10月中旬の回で4000回を迎えるからです。その10月には武者陵司氏(武者リサーチ代表)、田中秀征氏(元経済企画庁長官)、山内昌之氏(明治大学特任教授)、谷口正次氏(資源・環境ジャーナリスト)の四氏を講師にお招きしますが、山内氏に第4000回の榮譽を担っていただきます。経済倶楽部は今年6月に発足82年目入り。倶楽部としても講演会としても、長命の域に達せられたのは、会員各位のご支援の賜物と改めて引き締める今日この頃です。

新会員を紹介します(順不同)。鈴木正彦・東京慈恵会医科大学葛飾医療センター神経内科部長、田中久良子氏、西原春夫・一般財団法人アジア平和貢献センター理事長。

(塚田 紀史)

◆中部◆ 「中京観光の目玉はリニア新幹線」と言うのは地元経済団体のさる幹部。実際、三大都市圏でも名古屋地区は当面目立ったイベントがありません。外国人観光客誘致にしても、能登半島を龍の頭に見立て高山を経由して名古屋に至る「昇龍道プロジェクト」では尻尾にあたる名古屋では、名古屋城くらいしかないといわれ、「あとは中部国際空港から帰るだけ」との歎息まじりの声も聞かれます。そこで冒頭の発言が出てきます。同団体ではリニアを起爆剤に名古屋駅周辺の再開発なども想定。関連のシンポジウムの回数や参加者も増えているそうです。まさにリニア開発元年の様相ですが、実はリニアの開発主体はJR東海一社。約5兆円といわれる開発費の調達方法や収支計算などいまだ不確定な部分が多いことも事実なのです。

10月の定例講演会は、原田泰・早稲田大学教授、石平・拓殖大学客員教授、評論家の西部邁氏を予定しています。

(日暮良一)